



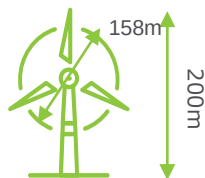
合同会社SUSKENERGY

- 2018年6月設立、本社福島県南相馬市
- 事業を通じ、実感できる復興の実現を！
- 社名は、Sustainable、Energy、さすけない（福島の方で「大丈夫、問題ない」の意）に由来



風力発電事業

陸上風力発電のラスト フロンティア開発



低風速地域での事業

- ・ 風速5.5m/s前後
- ・ 台風等乱流ない
- ・ 輸送インフラ十分
- ・ 出力抑制ない

世界最大の陸上 風力タービン活用



低風速でも高い事業性を実現！

地域貢献

営農再開へのステップとして オーガニックコットン栽培



avanti inc.

地域貢献が事業の拡張を後押し！

Vision

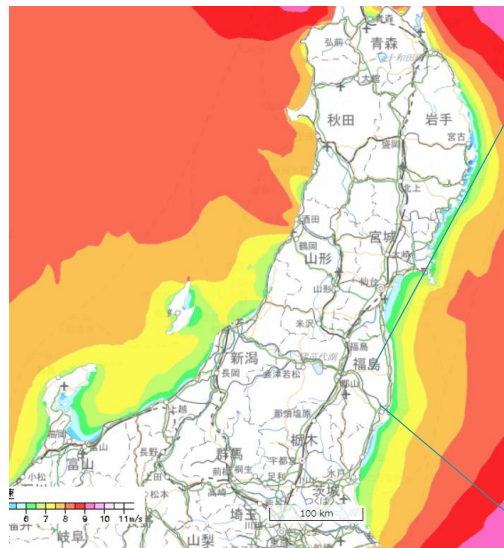


種まきイベント
(2019年5月)

- ・ GE Renewable Energy、ミュンヘン再保険、アバンティ等パートナー企業の協力を得て事業構築
- ・ 地域貢献が、事業地拡大をドライブ（Oコットン6次産業化、ローカルコンテンツ、地元への事業配当）

風力発電事業

井田川プロジェクト [5MWX3 = 15MW]



Iidagawa wind project [15MW]

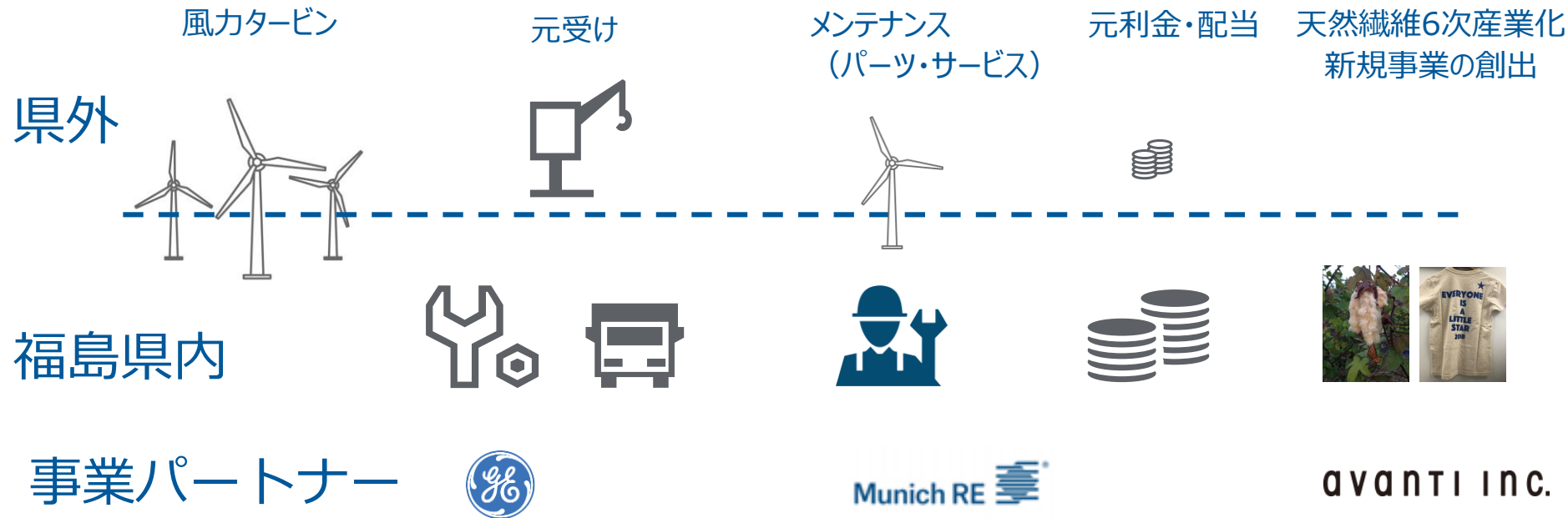
土地利用ゾーニング

中央部には太陽光用地、その用地を取り囲むように大規模農地を配置し、新たな産業の導入、農業の再生を図ります。また、地区外周部にフラワーロードを配置し、かつての井田川浦や津波により冠水した浦の形を再現することにより震災の記憶を伝承するとともに、浦貝貝史跡公園と連携を図ること、地域の一体的な再生を目指します。



- 津波被害があった160HAの農地・宅地
- 地元自治体が再生に向け復興整備計画策定中
- 圃場整備計画、太陽光発電事業(50HA) 進行中
- 風力タービン5MW機を3機設置し、15MW規模での事業を企画、推進中

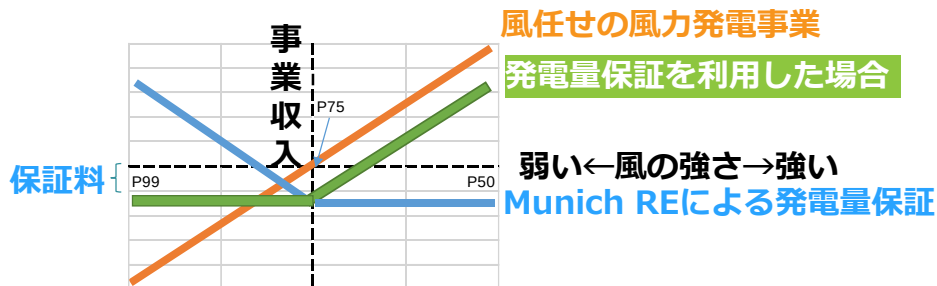
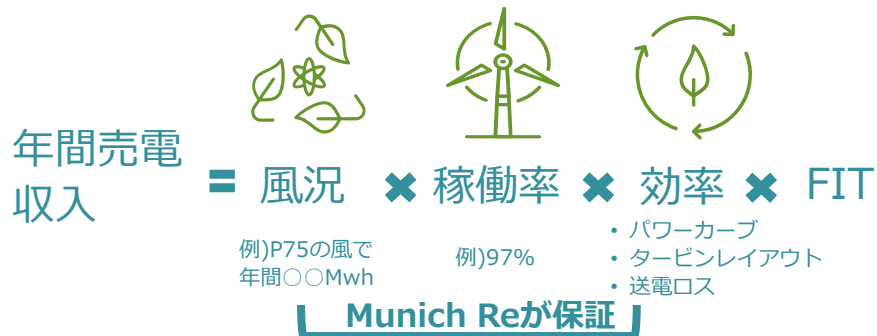
風力発電事業を梃に実感できる復興を！



ローカルコンテンツ、地域貢献を最大化する事業パートナー

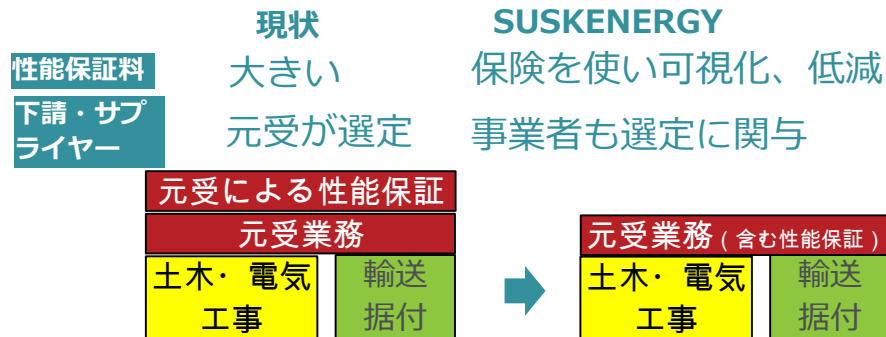
Munich Reの金融サービスにより地元主導実現

事業者向け長期売電収入保証サービス：



- ・ 風任せでは無い風力発電事業を実現！
- ・ 長期的安定配当によりローカルオーナーシップ実現

下請・サプライヤー向け性能保証保険：

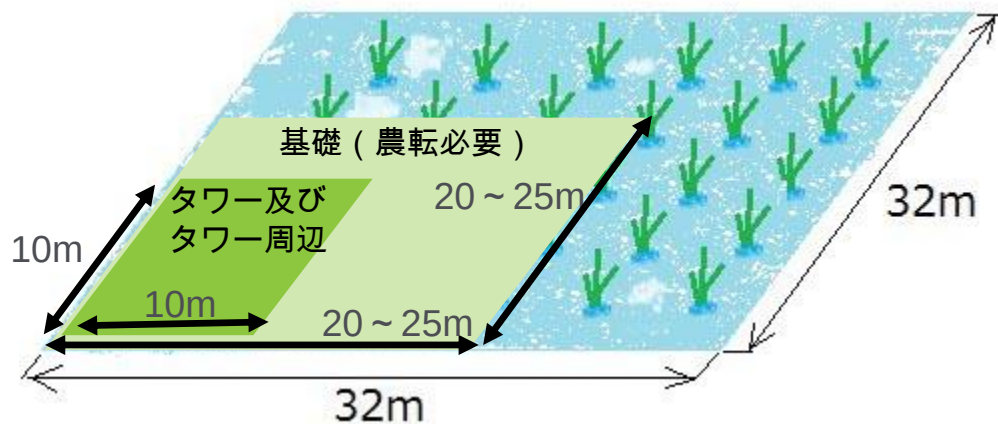


- ・ 風力発電事業が地域の産業集積につながる仕組創り！
- ・ 事業者が負担する初期コストも低減！

風力発電事業と農業の共生：一反当たりのインパクト

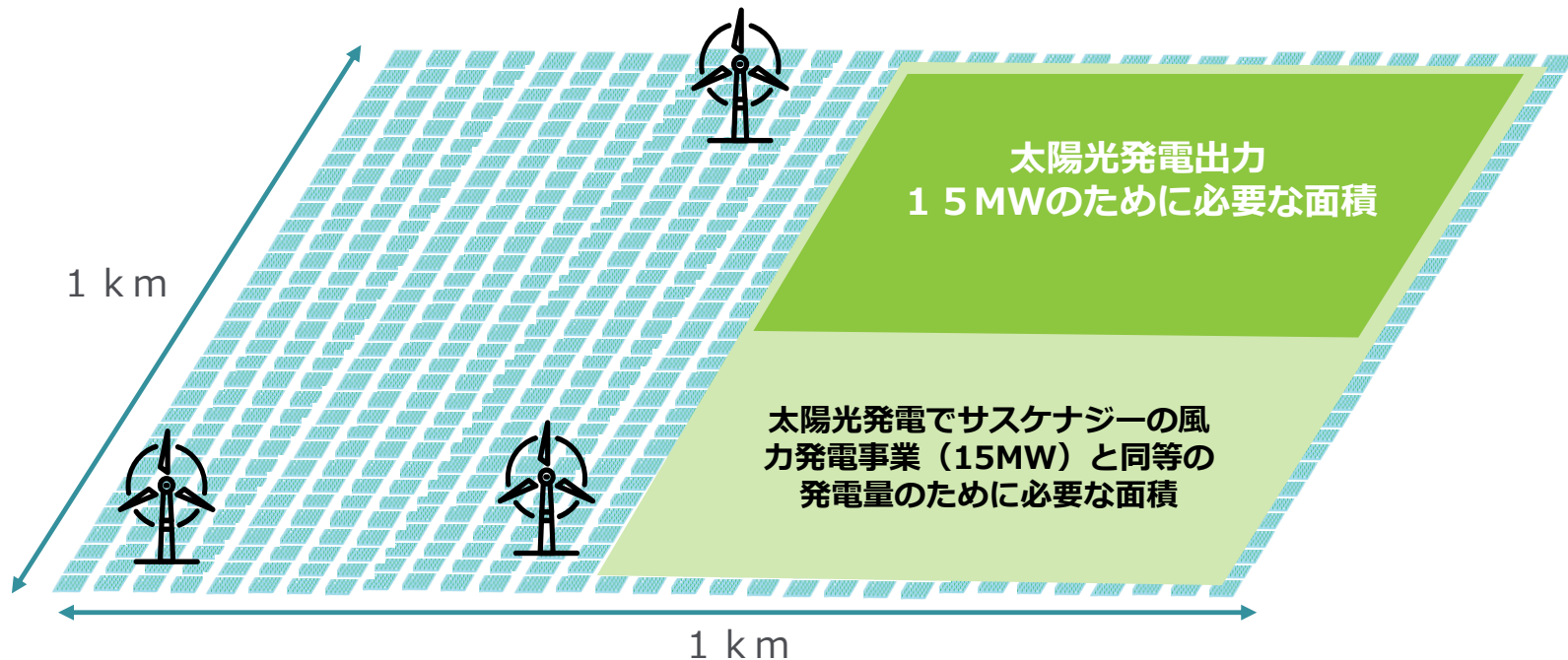
風車のタワー及びタワー周辺
(立入禁止) は10mX10m
(一反の約10%の面積)

一反の90%は農地として利用可能



風力発電事業と農業の共生：*事業地当たりのインパクト

*100HA (1 kmX 1 km)



風力発電事業収支

560百万円

年間
売電
収入

FIT18円
/KWH

160百万円

Opex

風車O&M
土地賃借料
綿引取、加工等

事業例

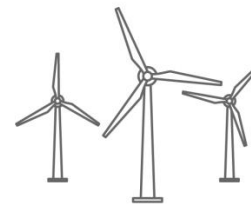
- 100HAの事業用地
(5HAで綿を栽培)
- 発電所規模：16.5MW
(5.5MW x 3)

資金調達

400百万円

元利金
・
FCF

ローカルオーナーシップ
実現し、元利金・配当を
地元へ還元



今後1年間のアクション

2020/3月

2020/6月

2020/9月

2020/12月

環境アセスメント

方法書作成

方法書縦覧

系統連系

東電PG回答

東電PG契約

風車選定

GEと協議

用地

所有者と合意

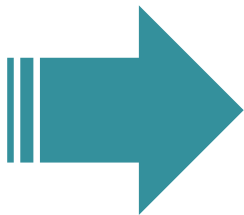
事業認定

認定
(FIT確定)

地域貢献事業

風力発電事業と農業の共生イメージ

初めは繊維植物（綿）、菜種などの栽培を通じて土地を活用、最終的には営農を再開する



風力発電事業と地域貢献事業ロードマップ

・ 準備期間【～2024年（目途）】

風力発電事業

- ⇒ 100HAの事業地地権者、近隣住民との話し合い
- ⇒ 風力発電所の建設等

ほ場整備事業＋復興支援事業

- ⇒ 試験的な綿花栽培（～5反）
- ⇒ 綿花栽培可能になるよう土地改良（～50反）

・ 事業期間【20年間】

風力発電事業

- ⇒ 地代支払い
- ⇒ 再エネ負担金支払い（復興支援事業に充当）

ほ場整備事業＋復興支援事業

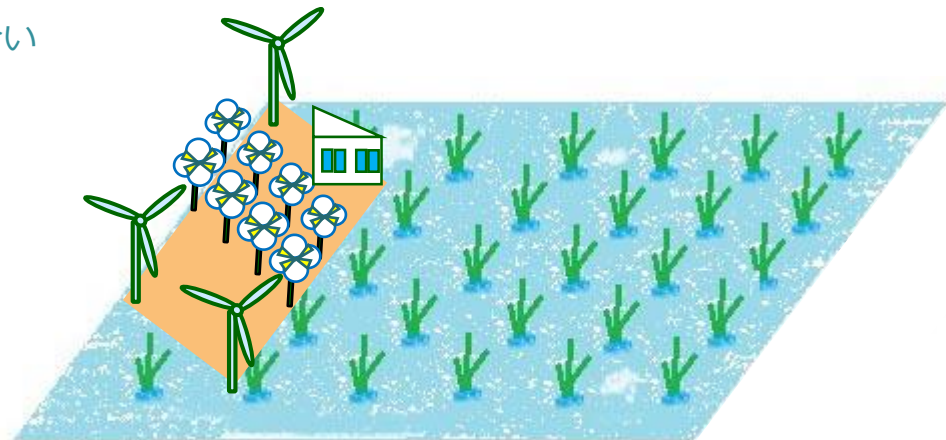
⇒ ステップ1.

100%福島産のオーガニックコットン製品を製造・販売（～事業開始後5年目途）

⇒ ステップ2.

100%福島産のオーガニックコットンを綿糸、ニット、最終製品を現地で加工、製造・販売

日本初の「風力＋オーガニックコットン
6次産業プロジェクト



再エネ負担金を全て復興支援事業に充当すると、
約50反の綿花の最終製品の買取保証が可能

米作よりも付加価値の高い綿作

事業地100HA/コットン栽培5HA

- ① 事業地借上げ(相当) ~18百万円/年間
18千円/年間/ 1反
- ② 米作並みの原綿引取価格 ~5百万円/年間
100千円/年間/1反
- ③ 2000枚のTシャツを製造 ~6百万円/年間
120千円/年間/1反
- ④ Tシャツを上代1万円で販売 ~14百万円/年間
280千円/年間/1反

~43百万円/年間
518千円/年間/一反



地域貢献事業の実現のために

担い手

- 地元農家とのパートナーシップ
- 収益性高いの風力発電事業を梃子に、天然繊維6次産業化による低リスクの新規事業創造、雇用の受け皿に！

大学・研究機関

- 天然繊維の実証研究
- 大学発ベンチャー
- 学生のサポーター派遣による農業・事業活動体験

サポーター

- 農業体験イベントへの参加
- 移住による担い手化
- 製品購入
- 風車設備への投資

大学・研究機関には事業パートナーとしての役割を期待

実施済の地域貢献事業（南相馬市小高区井田川地区）

第一回目の綿花種まき（17年5月）



綿花種まき、トモプロ屋外コンサート
（19年5月）

綿花摘み（18年10月）



SUSKENERGY
令和元年

風が織る
オーガニックコットンを収穫しよう～！

みどき未来トレーハウスと綿花畑周辺
2019.10.27 SUN
10:30～15:00
集合場所：福島県南相馬市小高区井田字西迫 79-3 小高発電所

★スケジュール
10:30 現地集合
10:45-12:30 コットン種まき
12:45-14:30 昼食やイベント
15:00 現地解散
※当日 200円（半額）以下 1000円（全額）まで
※当日 1000円（半額）以下 1000円（全額）まで

★お申込み
①現地集合
合同会社 みどき未来 李達
miki@energy-morai.jp 080-5226-7520
②東京からバス
附アバンティス
ktsuchi@energy-japan.co.jp 080-8881-8402

※東京から来る方
東京駅からバスが送ります
→集合場所は申し込み後にご連絡します
集合時間 14:00
参加費 10,000円
※当日 10,000円

地域貢献事業の広がり

オーガニックコットン畑の管理



オーガニックコットンの綿花畑の周りにはコーンやマロー（ひえ、粟類）を植えます。農薬や除草剤が入ってこないための隣の畑との緩衝地になります。役目を終えたこれらコーンたちは羊毛のために飼育される羊の飼料や有機堆肥になります。

天然繊維：ウール



オーガニックリネン



Tohoku Grandma Project

東北グランマの仕事づくり



天蚕



天蚕の繭と糸 天蚕の繭はきれいな緑色になる。天蚕の仲間が世界中に分布しているがこの色の繭は日本のものだけである。天蚕糸は貴重で高価なものである。



大型天蚕系統の育成に成功した。上段は普通天蚕系統、下段は大型天蚕系統である。取れる糸量は増加し、1kgの天蚕糸を得るために、普通天蚕系統で3,000個以上の繭を必要としたが、大型天蚕系統はおよそ200個の繭があればよい。

遊休地活用 綿を新産業に

[illegible]

2016年9月24日福島民友
福島県を国産天然繊維の聖地に！

SUSKENERGY創業メンバー

共同創業者



渡邊千春

共同創業者兼CEO

Munich RE, Green Tech Solutions (兼業'18/7月～)

略歴

1967年福島県生まれ

福島高校卒（'85/3月）

東北大学法学部卒（'89/3月）

シカゴ大学経営大学院（'96/6月）

GE Capital/Renewable Energy（'07/4月-'17/12月）

石川俊

石川建設工業株式会社（本社：南相馬市原町区）代表取締役社長
震災後県内時建設企業として初めて20km圏内に入り、遺体や不明者の捜索、瓦礫の撤去等に取り組む。

三浦広志

NPO法人野馬土代表理事

南相馬市小高区で農業を営んでいたが被災、壊滅的な打撃を受けながら地域での農業復興を目指している。

水上貴央

弁護士

早稲田リーガルコモンズ法律事務所パートナーを経て、再エネ事業を支援する法律実務の会理事長、Socio Forward株式会社代表取締役を務める。一般社団法人グリーンファイナンス推進機構諮問委員、たまエンパワー取締役、一般社団法人ReDEMOS理事、多摩市再生可能エネルギー事業化検討協議会委員長等を歴任。

渡邊智恵子

株式会社アバンティ代表取締役会長

2012年からフクシマオーガニックコットンプロジェクト推進。一般財団法人森から海へ代表理事、特定非営利法人日本オーガニックコットン協会副理事長等兼任。